

ものの見方・感性を養う「俳句の世界」

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力 主体性

日時 令和5年 6月15日(木) 5校時

学年 第3学年 10名

1 単元について

(1) 単元観(教科の見方・考え方は太下線, 言語活動は波線)

本単元は、中学校学習指導要領国語編〔知識、技能〕(2)「情報の扱い方に関する事項」ア「具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。」、〔思考力、判断力、表現力〕〔C読むこと〕

(1)ウ「文章の構成や表現の仕方について評価すること。」を受けて設定したものである。

俳句は、今日まで継承されてきた日本の代表的言語文化の一つであり、世界的にも広く知られた短詩型文学である。よって本単元では、定型や季語などの約束事を知るとともに、世界で最も短い詩である俳句の豊かな表現力に気づき、簡潔な表現に込められた多様なものの見方や感じ方を味わうことができる。

また、この単元では生徒のものの見方(価値観や認識)を揺さぶるだけでなく、用いられる言葉によっても感性や言語感覚が養われることを目指している。俳句では、鑑賞と創作の両方を位置づけ、実作の体験を通して対象への見方と、それを表す言葉への感性の拡充を図るものである。生徒を表現する立場に置き、実作・創作体験と交流を設定することで言葉や表現への感性を養い、作品を仲立ちにしたコミュニケーションによって、ものの見方を広げ、深めることができると考える。

(2) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、以下の資質・能力の育成に重点を置いている。

【思考力・判断力・表現力】① コミュニケーション能力 ② 課題発見・解決力

【学びに向かう力・人間性】③ 主体性 ④ 自己理解

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の二点に重点を置くものとする。

【思考力・判断力・表現力】 ② 課題発見・解決力

具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることを通して、課題発見・解決力を養う。

【学びに向かう力・人間性】③ 主体性

言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合うことを通して主体性を養う。

(3) 本単元において効果的に資質能力を育成するため、重視する言語活動

俳句を鑑賞する際には季語や定型、切れ字という俳句における約束事を的確に理解することが大切である。そして、さらにどのような語句を用いて俳句が書かれているのか、その効果を読み取る力をつけるとともに、自分が読み取った根拠を明確にしながら俳句について批評する力をつけたいと考える。よって本単元では、俳句を詠み、批評したり、考えたことを伝え合ったりする活動を取り入れる。

(4) 指導観（指導改善のポイント）

本単元は、俳人である夏井いつきによる解説文「俳句の世界」と「俳句十句」によって構成されている。筆者は、人気テレビ番組で俳句を批評するコーナーを担当し、生徒たちに馴染みのある人物でもあるため、まず筆者を紹介することで、伝統的言語文化「俳句」をより身近なものとして捉えさせたい。また「俳句の世界」は単なる解説ではなく、筆者の学習体験、俳句体験がリアルに語られ、生徒に「俳句を読むこと」を実感的に伝えることができるものである。続く「コラム 夏井いつきの赤ペン俳句教室」では、俳句の添削実例が取り上げられ、着想や言葉の吟味など俳句の本質が理解しやすくなっている。

これらを踏まえて「俳句十句」では、俳句の言葉から情景や心情を読み取る学習を行う。そして、自分が読み取った根拠を明確にしながら俳句について批評する力をつけたいと考える。どのような言葉が読み手の想像を広げさせるのに有効か実感させることは、俳句創作においてどの言葉を選ぶかを考える際に役立つものとなる。また学習活動に、自分が読み取ったこと、考えたことをグループで伝え合う言語活動を設定した。その際、感性で話し合うのではなく、根拠を示して議論する場となるよう仕組んでいく。また、その活動が俳句創作の「書くために読む」活動であることを示すことで意義をもたせ、積極的に表現の仕方に注意して読む能力を身につけ、それらを生かして自分の俳句創作に生かすことができるようにしたいと考える。そして、創作した俳句は「けんみん文化祭ひろしま・23」に応募することとし、意欲を持って取り組ませたい。

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。[知識・技能]
- 文章の構成や表現の仕方について評価することができる。[思考・判断・表現]
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。[学びに向かう力・人間性]

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ)	①進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。

(2) 単元の評価規準

3 指導と評価の計画

(全 5時間)

次	学 習 内 容	評 価			
		知	思	態	
本質的な問い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">近世から現代まで詠み継がれる「俳句」の魅力は何だろう？</div> 単元を貫く問い <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">十七音の言葉にはどんな背景があるのだろうか？</div>					
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">課題の設定</div> ・学習目標を確認し、学習の見通しを持つ。 ・「俳句の世界」で俳句の特徴を書き出す。 ・「俳句十句」について、情景を想像しながら音読する。	○			○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (ア①/行動観察・ジャムボード)
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">情報の収集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div> ・印象に残った俳句を選び、詠まれた情景や心情をまとめる。 ・選んだ俳句の表現の工夫や効果について批評し合う。 【本時】		○	◎	○「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。 (イ①/行動観察・ジャムボード) ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている (イ②/行動観察・ジャムボード)
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・表現</div> ・批評文を書く。		○		○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている (イ②/行動観察・ワークシート)

4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・表現</div> <ul style="list-style-type: none"> ・俳句を創る。 ・グループ内で批評し合う。 			○	○進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。(ウ①/行動観察)
---	--	--	--	---	---

4 本時の学習

(1) 本時の目標

俳句の表現の工夫や効果について書き出す活動を通して、具体と抽象など情報と情報との関係について考えることができる。

(2) 準備物

Chromebook, ワークシート

(3) 本時の学習展開

段階	○学習活動 ◆引き出したい生徒の言葉 (反応)	○指導上の留意点 ●配慮を要する生徒への支援	◇評価規準 ◆資質・能力(評価方法)	配時
導入	○前時の学習を振り返る。 ◆季語, 切れ字など ○情景を想像しながら音読する。	○俳句の特徴など, 俳句を詠む上で必要な基礎知識を確認させる。 ○俳句を詠み味わう際には, 言葉から読み取ったことをもとに, 省略されていることを想像して補うことが大切であることをおさえる。	◇具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (ア①/行動観察) ◆主体性(行動観察)	10
【本時のめあて】読み手の想像を広げさせるのに効果的な表現を見つけることができる。				
展開 ①	「課題1」 ○俳句に表現された情景や心情についてわかることを書き出す。 ◆季語と季節, 表現技法 ◆大意 ○書かれていない部分を五感を駆使し, 具体化して書き出す。 ◆鳥はどれくらいいるのか, どんな木か。 ◆万緑と新緑の違い。 ◆歯が生えることが意味する	○季語や切れ字など知識として理解するだけでなく, その背景にあるものを読み味わわせる。 ●グループで確認しながら, ジャムボードに入力させる。 ○どの表現から想像したのか, 根拠として説明させる。 ●グループで確認しながら, ジャムボードに入力させる。	◇具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 (ア①/Chromebook) ◆課題発見・解決力(行動観察) ◇「読むこと」において, 文章を読んで考えを広げたり深めたりして, 人間, 社会, 自然などについて, 自分の意見をもっている。(ア②/Chromebook) ◆課題発見・解決力(行	15

	のは。 ◆なぜ雪の深さを人に尋ねるのか。		動観察)	
展開②	「課題2」 ○得られた情報を分析する。 ◆もし○○だったら、効果的でなくなる。なぜなら・・・だから。	○別のものに置き換えて考えることで、効果的に使われていることを明確にさせる。 ●最も想像が広がった表現を一つ選び、類似した別の表現と比較させる。	◇進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。 (思考ツールワークシート) ◆主体性 (行動観察)	20
まとめ	「まとめ」 ○振り返りと次時の予告をする。	○学んだことを自分の言葉でまとめさせる。 ○批評文を書くことを伝える。		5

(4) 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> ・季語「雪」冬 ・いくたびも何度も ・雪の深さ(どれくらい雪が積もったか)を尋ねた ・雪がどれくらい積もったか知りたい↑いくたびも ・家の中にある↑雪の深さを尋ねけり ・家には他にも家族がいる↑尋ねけり ・自分では雪を確かめない↑尋ねけり 	<p>いくたびも雪の深さを尋ねけり 正岡子規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の対比 緑―白 ・我が子の成長を喜ぶ↑「や」歯生え初むる ・我が子の成長、生命力↑歯生え初むる ・切れ字「や」感動 ・すべてが緑 ・我が子の歯が生え初めた 	<p>万緑の中や吾子の歯生え初むる 中村草田男</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季語「万緑」夏 ・大樹は小鳥たちを守っているよう↑抱く ・葉をいっぱい茂らせた大樹↑抱く 	<p>本時のめあて</p> <p>効果的な俳句表現を見つけることができる。</p> <p>囀りをこぼさじと抱く大樹かな 星野立子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季語「囀り」春 ・囀り 鳥の鳴き声 ・大きな木が立っている ・切れ字「かな」感動 ・こぼさじ こぼすまい ・たくさんの小鳥が鳴いている↑こぼさじ
---	--	---	---

(5) 評価基準

A	B	C
別の表現に置き換え、比較することによって、俳句の特徴や効果を説明することができる。	思考ツールを用いて別の表現に置き換え、自分の考えを記述することができる。	思考ツールに考えを書くことができない。

